京城日報
夕刊
編輯兼發行人　印刷人　吉田　小川三之介
京城府太平通一丁目　發行所　合資會社　京城日報社
六月二十一日（日）

並びました太公望
涼線に釣る
……溫陽池所見……

お役所でも、會社でも、商店でも、週末が來ればもう日曜の釣果が話題を賑はす、若い人たちが山登りの自慢話をすれば、お年を召した人たちは、あの川この池の獲物に就てもいまへの釣天狗の鼻の高さを比べる、何もかも流線型化するスピード時代にはクルリと背中を向けて、彼らは日ねもすウキの一ミリ、一センチの動きに見入る、さんさんと降り注ぐ夏の陽光の中にウキの描く波紋を追ひつゝ無我の境に入る楽しさはやつてみなければ解りません！と彼らは釣の與商味を礼讃するのである、それ釣れた！糸と共に太公望氏の顔もどンと緊張、無我の水面が破れて浮世が顔を出す（寫眞は溫陽所見の數景）

愚禿頭巾（159）
吉川英治作　山村耕花畫

東國篇

一念一植（一）

親鸞にとつて、箇組は、第二の五日であつた。

嫁づいて來てからすぐ翌年に、その嬰方は、後に、小黒の女房とよばれた娘を生み、やがて又、二年措いて、男子の明信を生んだ。

親鸞の望みどほりな、一農民の生活圏がそこに展がつて行つた。

嬰兒のお襁褓の乾してある稻田の草庵の瞳光からは、いつも、うす紫に澄んでゐる筑波の山が見えた。遠くからは、加波山の連嶺が見え、吾國山の嶺が、澄んだ日には、鮮らかに手にとるやうに見える。

嬰方は、子を抱いて、よく陽の下に出てゐた。そして、彼女のうたふ子守唄は、すぐ涙光をながれ

の歌に締んでよくかうせがな。

嬰方は、乳房に乳をふくませながら、その他愛ない子と自然のと、幸せさうにながめてゐた。

「ホイ、ホイ。」

良姫は、お父様の田と、親鸞が、ほんにお好きなやうの――

すると、男の子らしく、ひとりで悪戯してゐた善意も、

「お父さま、歌ふて、はやく聞かせて」

と、一緒になつて、父の膝にすりついた。

「はい、はい、はい……」

と、親鸞は、たゞもう欣しいのだつた。どうして、人間といふものは、かくも楽しくあるものかと今の幸福が勿體ないほど、たゞ笑ひが出る。

である吹きゃ谷の深水に乗つてい、い浅野へ聞こえて行く

「稻田の草庵をあはせで何千石とい…肥沃な畑田をわたつて來るすゞ風が、絶えず、この僧俗・姻の家庭を清新に洗つてゐた。

建保の六年六月には、後に慈信といつた男の子が生れた。その翌年の八月は、有房が生れ、はやくも四十九歳になつた親鸞は、既にのことである長男の範意をあはせると、ちやうど五人の父となつたわけである。

いつの間に――

と、自分でも思ふことがある。こんな子福出にならうとは、自分でも豫期しなかつたのであらう。

だが彼は、それ等の子たちが生い育つてゆく間に、幾多の新しい驚嘆と生きた歎へを見出した。やはり、妻をもつてよかつたと思つた。子を持つてありがたいと思つた。そして、その法恩を、彌陀に感謝せずにゐられなかつた。

「お父さま、お父さま。……アノおもしろい何日もの田植歌をうたふて」

五歳になつた良姫は、父の法衣

「御せ――……歌ふてはやらうが、あの田植歌は、良姫やそなた等の御守り歌ではない。……それ、野良にあつて、あゝして働いて居りませうが。……あの百姓衆に聞かせてやらうぞおやゝ」

「でも、お父様、お百姓たちは、みんな六人でしよ、子どもおやたいのに、どう――でお父様が歌をうたつてあげるの」

と、良姫はもう、そんな遊びをたづねたと云ふ。

「なんの――」

と、親鸞は、この子にも、法の悦びを知る芽が萠れたと眺りながら答へた。

「お百姓たちも、この父にとつては、皆、そなた達と變りないわしの子ちや。……どれ、けふも好い日和、わしの可愛い子たちの爲に外へ出て、田植歌をうたはうか」

「お父さま、良姫も、連れ行つてくだされ」

「わたしも」

と、善意と良姫は、兩方から父のたもとにぶら下がつた。

保健國策の立場から 學生スポーツを再檢討

大學リーグ戰にも調査を進む

【東京電話】政府は過般の閣議において國民保健政策を根幹とする具體案を

確立す るに決しそれぞれ關係各省において調査研究中であるがこれと共に文部省では保健國策の立場から學生スポーツの再檢討に着手し殊に最近殆ど職業化してゐる六大學大野球リーグ戰を初め學生スポーツに關し調査を進めてゐる、即ち文部

當局の 意向では從來の例に徹しリーグ戰のために授業を休み且相當額の入場料を徴收し花形選手を優遇するために有爲な學生を徒に職業選手にすることは敎育上甚だ憂慮すべきことであるとしてをり積極的に六大學の野球部の內容並に野球聯盟の實體その他に關し調査を進め禁止すべきものありと

認めた 場合は六大學野球リーグ戰の如き斷乎これを禁止する方針である

國民病の激增により 結核療養所の建設

陸軍當局が計畫中

【東京電話】寺内陸相は十九日の閣議で國民體質向上への重大提言を爲す處あつたに鑑み政府では若急內閣調査局をして國民の健康增進策を樹立することになつたが、陸軍の徵兵檢査の不合格者丙丁種該當者は近年漸次增加の形勢を示しつゝあり、即ち大正十一年から昭和元年までの平均統計では、丙丁種該當者は受檢總數全部の二十五%であつたが、昭和二年から同七年に至る六年間の平均では三十五パーセントとなり、更に昨年度に至つては約四十パーセントに激增し、而もこの大部分が日本人の國民病といはれる結核患者と近視眼で、特に注目されるのは、今迄比較的成績良好であつた農村地の檢査成績が、最近では都會地よりもはるかに不成績であるから、陸軍では是が對策として各方面の保健思想の喚起に努めると共に、一方在年結核となつて除隊する兵士が三千名に達し、又前線の第一線から病氣で送還される兵士の約九十パーセントが何れも結核である實情に鑑み、この際懸案の陸軍結核療養所(經費約五百萬圓、全國數ケ所に建設)を是非共實現すべく計畫中である

華やかな世の裏に 貧に泣く人の群

京城府のカード階級調査

八千七百餘戶三萬七千餘人

近代文化の衣裳をつけた都會も一皮剝いて覗くと貧困に喘ぐ群が充滿してまさに明暗色の圖繪を描き都會の裏面を思はせる、京城府の社會課では五月末現在でこれら貧困

カード階級 の調査中であつたが、調べあげた數字は次の通りである(第一種は全然收入がなく、直ちに救濟を要するもの、第二種は月收三十圓以下で僅かに生活の命脈を維持して行ける者)

▲東部第一種(八八戶、一二三人)第二種二、四七四戶、六六二六人)で人口の一割二分がカード階級

▲北部第一種(一三〇戶、二〇三人)第二種(三、七一八戶、一一、五四三人)で人口の一割二分がカード階級

▲西部第一種(七八戶、一三五人)第二種(一六二七戶、七、一九一人)で人口の七分七厘がカード階級

▲南部第一種(六七戶、八二人)第二種(九四三戶、三、八六五人)で人口の三分九厘がカード階級

▲龍山第一種(二〇四戶、四四七人)第二種(一、四〇〇戶、六九五五人)で人口の一割八分がカード階級

これを合計すると第一種五百五十七戶、九百九十八人、第二種は八千七百六十三戶、三萬六千百七十九人で所謂カード階級として社會事業の溫かい手にすがらねばならない者はこれらを合した八千七百十九戶、三萬七千百七十六人の多きに達してゐる、なほこれを昨年の六月末現在に比較すれば九百三十八人の增加を示してゐるがこれらカード階級は方面委員の指導を受けて生業資金の融通を受けるなど救濟策を講じてゐる、また一方府社會課では新に調査係を設けカード階級の徹底的救濟對策に關する各般の調査を行ひ未だ手のつけてない新編入區域の調査も行ふ答である

ティボウ氏大演奏會

世界を壓する提琴の巨匠!

本社主催 二十九日夕八時 京城府民館

ティボウ氏小傳 ジャク・ティボウ

ティボウは現代のフランスが生んだ世界ヴァイオリン演奏家中の巨匠である、一八八〇年九月二十七日フランスのボルドーに生れた、父について音樂を學び、四歲でピアノを始め、僅々六歲でモツアルトのソナタを公衆の前で彈いた、一八九二年にはアンゼルの演奏會で、すでに演奏曲目に素晴らしい解釋力を示し大いに將來を囑望された、十二歲の時、パリ音樂院に入つてマルシックに師事し、間もなくコンクールで一等賞牌を得た、卒業後、かうした天才も家が貧しかつたゝめパリのカフェ・ルージユでヴァイオリンを彈いてパンを稼いだことがあつたが、偶然にもそこでコロンヌに見出されて、彼の管絃樂團に加はり、忽ちその指揮者となる やがて一八九八年十八歲の時獨奏家として初舞臺を踏み、これが非常な喝采を博び爾來次第にその地步を進め、遂にバッハ、ベートーヴェン及びブラームスの解釋に就いては當代稀に見る權威の一人に數へられるに至つた ブルッセル訪問についで、獨、露、墺、米、伊、英、及び瑞西などに彼の足跡が印されたが到る處で白熱的歡迎を受けた 彼がまたカザルス、コルトーと共に三重奏を組織して世界の樂壇に雄飛してゐることも有名である(寫眞はティボウ氏)

演奏曲目

1 シヤコンヌ……ヴイタリ
協奏曲 イ長調 モツアルト
アレグロ アペルト
アダヂオ ロンドー

2 奏鳴曲(ダイツエル) ベートーヴエン アダヂオ リオステヌト
プレストー アンダンテ コン
ヴアリアチオーニ プレストー

3 マラゲノ舞曲……アルベニース
吟誦詩人……ドビユツシイ
タンブラン……クライスラー

藏相の訓示

◇—地方長官會議で

【東京電話】特別議會の終了と共に政府は各般の政策の具體的實施の準備に着手するわけであるが、先づ租稅制度の改革については富の都市集中、地方負擔の不均衡等の事情につき中央地方を通じて考へる必要があることは申すまでもない

國稅 制度については根本的改革を行ふと共に、地方稅の制度についてもその全般に亘り根本的檢討を加へ國民負擔の均衡を圖ると共に、租稅收入の增加を圖ることが必要であると考へる、政府に於ては右の方針に從ひ昭和十二年度より稅制の改革を實現する決心を以て目下着々之れが調査を進めて居る、かくの如く根本的稅制改革に依る國民經濟に及ぼす影響は極く廣汎且つ重大であるから、最も周到なる研究と用意を要すると共に、本事業が完成されるためには是非共官民一致の力に依らなければならない

なほ 政府は地租法の規定に基き地租の課稅標準たる賃貸價格の改訂を行ふため、本年度より賃貸價格の調査を行ふことにした、賃貸價格の改訂は國民の租稅負擔に重大なる關係を有するのみならず、延いて地方財政に對して相當の影響を與へることは明白である、本調査は全國の稅務官廳をして行はしめるが之れが圓滑なる遂行については一般より地方廳並に地方町村の援助に俟つところ極めて多い、政府は今回地方財政救濟のため財政難の町村に對しては總額二千萬圓を國庫より支出してその財政を援助することにした

本施 設はもとより臨時應急の措置に過ぎない、地方財政調整の根本的對策は中央地方を通する稅制の改革と相關聯して確立すべきものであつて政府は目下之れが調査を急いで居る、なほ地方公共團體の財政困難の原因を探究するに色々あり、殊に近年頻發する災害に基くものも少くないが、自己の財力を考慮せずして徒らに尨大なる計畫を樹て又は收支の確立を期せずして濫りに不急の事業をなすなど放漫なる財政計畫の結果

收支 の均衡を失すると思はれるものも可なり見受けられる、今後公共團體の財政については一層周到なる注意を拂はれんことを希望する、又政府は曩に窮乏町村にある各種組合に對し預金部貸付資金の償還期限延長、融通利率の引下げ等を行ひ又水利組合に對しては直接貸付を實行する等、地方公共團體の各種組合に對しその負擔輕減に努力して居るが、從來之れが資金貸付の際は往々にして資金の運用宜しきを得ず、種々弊害ありと、認められるものも少くないから監督上、一層御留意を望みたい

更に 政府は低金利政策の實施に伴ひ先般來五分利公債の三分五厘借替を行ひ日本銀行の割引步合引下げを實施した、然るに地方に於ては未だこの低金利政策の實施趣旨徹底を見ざる所もあるやに聞く故、各位は政府の意を體し之れが徹底實施に協力せられんことを望む、なほ農山漁村に對する金融及び中小商工業の金融改善も目下の急務であるが、政府に於てはさし當り商工組合中央金庫を設置し、中小商工業者の金融を圓滑ならしめ更に農村負債整理組合法を改正し

負債 整理組合を設立して負債整理を促進することにした 終りに國防の充實、國民生活の安定を期するためには產業の伸張發展を圖り、國民經濟力の擴充を期することを以て第一義としなければならぬ

エヂプトから 鮮產品の引合

朝鮮商議宛に

日埃會商の危機を他所にエヂプト アレクサンドリアの東方貿易會社よりこの程朝鮮商議宛に鮮產罐詰類、鰮鰊の燻製、豆油硬化油其他の商品を大量に取引したき旨斡旋方を依賴して來たので、同會議所では熾烈な世界貿易戰の今日耳寄りな話として極力關係方面と折衝の上この申出に應ずべく懸命になつてゐる

大邱醫專優勝

三醫專對抗陸上競技

朝鮮三醫專對抗陸上競技大會は廿日京城運動場で擧行、大邱醫專が優勝した、各校得點及び戰蹟は左の通り

	百米	二百米	四百米	八百米	千五百米	走高跳	走幅跳	三段跳	棒高跳	砲丸投	圓盤投	槍投	リレー
京城	6	4	7	10	8	9	3	5	9	9	7	3	3
平壤	5	7	6	3	4	5	9	8	6	3	6	7	1
大邱	10	10	8	7	8	7	9	8	6	9	8	11	6

總得點【大邱一〇七、平壤七〇、京城八三】

◇八百米 1中(大醫)2奈良(平醫)3坂口(京醫)
◇ハンマー 1樋口(大醫)2林(大醫)3强山(平醫)
◇瑞典總走 1大醫2京醫3平醫
◇百米 1相川(大醫)2井領(京醫)3山本(大醫)
◇圓盤投 1李(京醫)2樋口(大醫)3篠原(平醫)
◇走高跳 音丸(大醫)2伊藤(平醫)3永富(平醫)
◇槍投 1李(京醫)2萬歲(大醫)3强山(平醫)
◇四百米 1相川(大醫)2奈良
(平醫)3金潤(大醫)
◇高跳 1、相田(大醫)2、金(京醫)3、尹(平醫)
◇五千米 1、宋(府醫)2、申(大醫)3、(京醫)

日本クルー優勝

マロー・レガッタで

【ロンドン廿日同盟】マロー・レガッタ決勝は二十日午後三時三十分から日本代表クルー、テームス・ローイング・クラブの間に擧行、我が代表クルーは四分九秒といふこのコースの新レコードにこの日の最高記錄を出しテームス・クラブを一艇身半拔き見事初の國際レースに優勝、マロー・グランド・チャレンヂ・カップを獲得した

ー日本クルー四分九秒2テームス・ローイング・クラブ差一艇身半

黑人ファン暴行

試合に敗けて

【ニューヨーク廿日同盟】十九日夜のヤンキー・スタヂアムにおける試合で黑人"褐色の爆彈"ルイスが意外にもシュメリングのため不覺の敗を取るや祝賀の準備萬端なつて勝報を待ち構へてゐた黑人ファンは興奮の餘りニューヨーク市內各所において白人に對しピストル、短刀をもつて殺傷を加へ或は自動車に投石する等暴行の限りを盡した、これがため警官七百名が出動鎭撫に當り深夜に至つて漸く納つたが一時は大混亂を呈した

米國武器輸出解禁

【ワシントン廿日同盟】伊エ紛爭勃發以來アメリカ政府は中立政策の建前より伊エ兩國に對して武器の輸出禁止を行つて來たがルーズヴェルト大統領は二十日右禁止を解除する旨聲明した

地方版

待ち焦れた惠みの雨

有難いッ!!雨だ　元山に三五・六ミリ

草木は忽ち蘇へりお百姓は雀躍り　水道の斷水ご難も吹飛ぶ

……東方海上の優勢な高氣壓が……南部を蔽ふて停滯した……低氣壓をはゞまれ屢々雨模樣を……たまゝで動けなかつたのが……の後退によつて……の惠雨を齎したものである

全南地方も潤ふ

二十一日未明から降り出し　早速田植ゑの準備

西鮮の雨量

水の豐かな地方に　皮肉にも多く降る

平壤の點呼

二人組の大泥棒

大法螺を吹いて飲んでる際中御用

……を吹き乍ら飲んでゐる男二人を……刑事が取調べたところなん……等はかねて捜査中の大泥棒……

迎城町番地不詳張萬（三七）と新町……申鉉九（三一）の兩名と判つた　二人は去る二月二十九日午後十時頃村上町石田某前に置いてあつた西城町一ノ二九鄭三祚所有の自轉車を失敬したのを手始めに爾來府内各所で數回に亘り十四臺（二百五十圓）を窃取したほか、新町六九織物商洪在龍商店に侵入し絹織物（時價三百圓）を搔拂ひ、これを半額以下で行商して歩いてゐたものである

大二商會　城津進出

【城津】木材部業界の關心は最近非常に深まり各地から業者が進出しつゝあるが近く株式會社大二商會も府木集隣接地に大製材工場を建設することゝなり用地買收を了へた模樣である

金塊密輸男

舞戻つて御用

【新義州】楚山郡生れ住所不定李承伯（三七）は昨年五月から七月の間に人から頼まれて金塊一貫目を密輸、巧に金にかへ一萬一千九百餘圓をそのまゝ橫領、奉天に高飛びし同地で阿片と銀商賣をしてゐたがすつかり失敗、文無しになつて江原道春川邑内に潜伏中を同地警察署に捕はれ廿日新義州署に押送された

司法事務檢閲

【永登浦】他方法院檢事局黒瀨檢事は司法事務の圓滑を圖るべく二十日午後二時から永登浦署の司法事務を檢閲し打合せを行つた

羅南商工會　評議員會

【羅南】商工會では十八日役員會……の結果……重任の迫水越正副會長から挨拶あつて稻垣……多四郎氏を特別評議員に推薦、滿場拍手で迎へ、當面の諸問題に對する積極的活動について懇談した

天馬山の岩窟で　惡ブロ二名逮捕

釜山海岸の密航船遭難事件　第二福江丸を嚴探

【釜山】既報、釜山海岸の密航船遭難事件に關つた惡ブローカーの檢擧にその筋では不休の努力を續けた結果廿日午前五時府内天馬山中腹の岩窟に潛んでゐた前科二犯……を逮捕し釜山署で取調中であるが同人らは十八日夜四十五名の密航希望者を狩り集め一人當り十圓乃至十五圓の手數料をまき上げ……に上陸、遭難のゴタゴタに紛れて逃げ出したことが判明、引續き第二福江丸の行方を嚴探中である

米國向板豆粕

淸津港積出

【淸津】アメリカ向の板豆粕は今月に入つて……本苑二回苑本船に淸津港……淸津に於る特産商の大手筋カバルキンの試みであるが結果良好の模樣で、アメリカ直航船が寄港すれば將來六口荷物を扱ふ意向らしい

線路枕危險

又一人大國へ

【浦項】レール枕寢は危險、邑廳……は十七日夜邑廳驛から西村八百米の線路内で寢てゐる間に、午後九時五分發……列車のために頭部……足首を轢斷され遂にあの世へ直行

羅津の埠頭を飾る　待望のビル建設

諸機關を一堂に收めて　明年六月に竣工

【羅津】滿鐵羅津埠頭を飾る待望の頭ビルディングは當初の計畫を多少規模を縮小、設計變更の上七日大連滿鐵本社で大倉組の……指名入札により工事請負を決定し近く着工することゝなつたが、三階の煉瓦二階建、高さ六十七米の上に七米の無電信號塔を有する建坪約六百坪の堂々たるもので、工費約三十萬圓を要し滿鐵埠頭營業所を始め、稅關、海事出張所、水上署、郵便局及び貿易局出張所、國際運輸埠頭營業所、食堂、經費所等を完備する綜合ビルであり、北鮮管理局の移轉に伴ふ增築も用意されてゐる、因に竣工は昭和十二年六月の豫定である

娘よいづこ？

あはれ老人自殺

日露戰役の勇士　平元線の銹と消ゆ

……西部中村區栄出口鶴松（六〇）と……れてをり、その裏には「娘を……を見るとはるばる……探したが見當らない」と書いてあ……引に發見し……内地から娘……を圖つたものとみられてゐる

幼児誘拐

母親が發見　未遂に終る

またも

水防團陣固め

慶南の基雨

……

遊廓で服毒

【釜山】十九日夜釜山綠町遊廓大……ますに登樓した下の關市細江町……菓子商井上武文（二三）は廿日拂曉カルモチン自殺を企てたのを發見され府立病院に收容した、釜山署で……調書地に照會取調べ中

華川署異動

【春川】華……署では……巡査部長の樋口署……

躍進元山局の新妻　共電式の交換機

大京城からお輿入れして　めでたく華燭の典をあぐ

【元山】府民多年の熱望漸く叶ひ元山局の共電式交換は廿一日午前零時を期して切り替へられたこの共電式交換機は長い間大京城府にかしづき内助の功も顯著に、ついたものだ文庭高宿は設ひ多年の功……最近まで愛されてゐたが年を經るまゝに文化日に進む大京城の家風に合はなくなつて去られたのを元山で乞ひ受け前式機の後釜に迎へ勞に愛で一切を總督遞信局で負擔し興入れ先元山では一錢の結納金も出さずに新妻を迎へ得たもので全部に例がないといふ、その仕度金即ち總工費十一萬餘圓、擔當……課長、大長電話課長並に闘記大西元局長、蔚山監督課長、大泉工事手等は電式と共電式との……を期しかくて廿一日午前零時有……遞信局の大西技師、律島技……待つき方を新侍女の元山局交換孃の三名が來元し連日彼女の氣質や美島ウノトさん、井上かずゑさん……局の女判任官帝藤きみ子さん、一方彼女の介添として京城中央電話……口は今日の日を待機中であつた、加入者の家庭に入つた彼女の耳と……察の新舘も光輝燦成し既に過般各……

"大尉の娘"上映

廿二日から仁川館で　本紙讀者鑑賞會

【仁川】哀愁の一夜を送る愛讀者優待名畫鑑賞會……本社仁川支局と瓢舘がタイアップ多大の犧牲を拂ひ新興の特作二大名篇を上映讀者を優待『名畫鑑賞會』を催すことになつた、井上正夫、水谷八重子主演オールトーキー『大尉の娘』をはじめ中野實脚作の伏見信子、立松晃共演新夫婦性愛讀本『私のあなた』六谷日出夫、鈴木道子、毛利……子力演時代劇『浪人……子』正夫、八重子の顔合せは近來にない珠玉篇としてファンに大きな期待がかけられてゐる、本紙讀者に限り階上六十錢を三十錢、階下四十錢を廿錢に割引優待するが、上映は應上二十二日から每日夜……公開（初日は『大尉の娘』）

元山醫院增築

【咸興】元山道立醫院増築工事は十九日四萬九千二百圓で大橋組に落札

慶南辭令

慶南道警察部勤務を命ず（本署）巡査部長　小西　正東

任慶南警察部、釜山署勤務を命ず　釜山署警察部　金　永……

商業係主任を命ず（鎭原）巡査部長　金田　久雄

慶南警察部警察課勤務を命ず

芳山道警察部勤務を命ず　京畿道警察部　金　……

……（芳山浦）巡査　石丸　卓……

歸署外勤を命ず（本署）巡査　李　成　根

晉東鮮在所勤務を命ず（晉東）巡査　李　東　雨

上山鮮在所勤務を命ず（上西）巡査　申　……　俊

歸署司法係を命ず

全鮮庭球　東鮮豫選

雨で延期し　廿八日開く

【元山】本社支局主催、咸南體育協會後援の全鮮庭球選手權東鮮豫選大會は廿一日午前八時から第一コート元山鐵道官舍第二コート要塞司令部の各コートで華々しく擧行すべく十八日まで申込みの咸興、興南、通川、歙谷、元山その他州衛組の組合せ抽籤も同夜の委員會で終り設備萬全を期して待機中のところ十九日夜から降り出した雨は廿日夜に至るも上がらず廿一日も天候回復の見込がつかないので緊急委員會を開き協議の結果遂に來る廿八日の日曜日に延期することに決定した、因に同日の開會次第及び委員は次の通り

▲二十八日午前八時まで選手委員一同　鐵道官舍コートに參集▲同八時半入場式（主催者の開會の辭、玉田會長の挨拶）▲同九時玉田府尹始球式直に試合開始

▲大會委員＝＝會長　玉田之繁、委員長　山本爲吉、委員　田中義一、岩本正二、林田末廣、古城剛之助、山手喜八、福王寺七郎兵衛、小野晴男、泉川京己、齋藤信治、金福山、朴弘範、鈴木淸、柴生敬夫、雨羽新敏

……その他工事關係、電話關係、遞信……總督の下に第二の華燭が四十秒間で目出たくも華やかに灯されたのであつた

羅中武道選手上城

【羅南】既報、全鮮中等校武道大會に出場の羅南中學選手は十九日朝八時校庭に參集、市村校長の訓示激勵を受け、これに對し佐藤劍道主將答辭を述べ全校生徒の校歌齊唱萬歲三唱して猿尾教諭、藤原劍道師範の引率で羅南神社に武運を祈願し全校職員生徒の見送り裡に午前十時五十五分羅南驛發列車で上城

人の動き

▲大野高級參謀（朝鮮軍）國境視察の歸途十八日羅南師團司令部を訪問、同日歸任

▲前田咸北産業課長　十九日歸任

▲向井警察部長　十九日淸津へ

▲諸島大尉（羅南憲兵分隊長）赴任の途中十九日羅南着、二十日任地へ

昇段大手合戰譜（8）

日本棋院

四段　中村勇太郎

先相先　先番　三段　高川格

對局者の言葉

（黑）ロ五七で直ぐ「ち五」にツケコシて行く筋もあるのですが前回述べた白「へ十九」の下りによる一眼がこゝにあるので、大した成功を期し得られません

（白）ロ五八でロ五九に一目拔くのもあるやうですが、何となく黑「ち五」のツケコシが厭でしたで（白）黑ロ六一以下ロ六九まで手順よく運ばれたものです

評解　五段　關山利一

●黑ロ五七で「ち五」にツケるのは以下白「り五」黑「ち六」白ロ五八黑「り七」白ロ七八となるのであるが「へ十九」の下りによる後手一眼があるので、黑も容易に攻め切れないであらう

○白ロ五八は愼重を期したものではあるが、不明の形勢にある現在にあつては、ロ五九に應じて一目取つてゐる方が多少優つてはゐなかつたか

○白ロ八四までとなつて、漸く計算もらくになつて來た

對局者の立場に立つて、地合の比較を試みるのも、一つの研究であらう

●黑ロ六一乃至白ロ七二は、隨時亂くなるべき運命にあるところ、白の忍びがたい感はあるが、先づ黑の權限に屬するものと見ねばなるまい

諸の如く黑ロ五九のツギそれ自身が大きい許りでなく、ロ七二の一子まで先手に救助されたのは考へさせられる

（制限時間各八時間）

所要時間（白　四・四六）（黑　七・四二）

（一分以內は切捨）

○ロ五七　ち四　18分
○ロ五九　り三　5
○ロ六一　わ九
○ロ六三　ろ十二
○ロ六五　は十三
○ロ六七　ろ十六
○ロ六九　い十五
○ロ七一　ろ八
○ロ七三　は七　1
○ロ七五　れ六
○ロ七七　ち二
○ロ七九　そ十三　3
○ロ八一　つ十四
○ロ八三　わ六
○ロ八五　か九
●ロ四九　ツグ（四〇ノ處）

●ロ五八　よ七　6
●ロ六〇　た七　2
●ロ六二　は十三　3
●ロ六四　ろ十五
●ロ六六　ろ十四
●ロ六八　い十一
●ロ七〇　は八
●ロ七二　い十
●ロ七四　そ九　5
●ロ七六　り二　7
●ロ七八　ぬ二
●ロ八〇　そ十四
●ロ八二　そ十三
●ロ八四　そ十八

妊娠中の御婦人へ──　梅雨期の攝生

危險な妊娠腎の原因となる濕氣

東京風景カメラ行脚（外苑・繪畫館）

梅雨期は氣溫の變化が激しく寒くなつたかと思へば、急に寒くなるといふ風で、丈夫な人でも風邪をひき易いものですが、まして妊娠中の婦人は抵抗力が弱くなつてゐるので、風邪をひいたり胃腸を害したりすることが多いものです。妊娠が

胃腸障碍や風邪に

犯されますと、常人と違つて脚氣や腎臟炎などの諸病を併發し、殊に恐ろしいのは妊娠腎で、無理をしてこぢらせますと、つひには命取りの子癇を起す樣なことも少くありません。

梅雨期のこの頃は、特に胃腸に氣をつけ、寒暖の變化に應じて衣服を調節する等、氣をつけなくてはなりませんが、殊に腎臟炎の疑ひがある場合には、檢尿によつてその有無を確め、早期に治療する樣努めなくてはなりません。

妊娠腎の症候としては、脚がかすむとか、手足に浮腫が來るなどが主なものですが、はつきりした症狀が無くても、身體が異常にだるかつたり、何もしないのに

すぐ疲れる樣な人

は一應疑つて見る必要があります

もし妊娠腎を發見したならば、動物性の蛋白質、鹽氣の強い食物を避けて、植物性のもの、水分の多い食物を攝り、便通、利尿に氣をつける樣にします。牛乳、西瓜……

これから多くなる　妊娠脚氣の豫防法

梅雨期から炎暑にかけ、氣溫、濕度が高まり、そのために新陳代謝と榮養の補給が平衡を失つて、胃腸障碍や脚氣が激增して來ますが、特に妊娠中の婦人は、胎兒と二人分の榮養、代謝を負擔する關係上、普通の脚氣よりも

急激

に增惡する傾向のある、妊娠脚氣を引起すことが多いのであります。

これは前段に述べました、妊娠腎と共に、妊婦にとつて最も警戒すべき病氣で、抵抗力を弱め、難產死產の原因となり、また胎兒の發育を阻害し、分娩後は乳兒脚氣の原因になります。

これを豫防し、或ひは治療するには、普通の人の脚氣と同樣に、ビタミンBを十分に補給することが必要ですが、妊婦の場合にはビタミンBだけでなく、更に進んで胃腸を強め、妊婦の體組織や胎兒の營養を補ふ榮養素をも補給し、また體内に蓄積する老廢物、有害物を分解排除する樣な工作が必要となつて來ます。

今日妊娠脚氣の豫防と治療に、活性ヘーフェ菌劑「錠劑わかもと」の服用が一番推奬されてゐるのも即ち本劑が右に述べた樣な

効果

を綜合的に備へてゐるからであります。

「錠劑わかもと」はヘーフェ・サカロミセスといふ活性微生物から出來てゐて、ビタミンBの含有量からいつても、生物界第一の豐富さでありますが、その上にアミノ酸、グリコゲン、カルシウム、ビタミンA、D、十數種の活性酵素、ホルモン性物質等の貴重な成分を含み、それらの成分が相協力して、細胞賦形賦活作用といはれる、微妙な効果を發揮するからであります。

……

根幹

たる胃腸の組織を強め、消化……

……右の「錠劑わかもと」は、數十百種を算するヘーフェ菌中から、藥用として特に價値ある菌種を選び、專賣特許の方法により製劑したものでありますから絶對に他で眞似ることの出來ない優秀藥であります。にも拘らず近來それと同樣の効果ありと稱する類似品（酵母劑、麥酒酵母劑等）を推奬する向もありますから御注意下さい。なほ「錠劑わかもと」は一日分數錢に足らぬ奉仕價にて、東京市芝公園大門内、わかもと本舖榮養と育兒の會から發賣され、全國藥店にあります。

「錠劑わかもと」は稀有の有益菌として、乳酸菌以上に効果のあるヘーフェ菌に、特にビタミン、アミノ酸、グリコゲン、無機物等の貴重な成分を含有させて、培養製劑した微生物劑でありますので、唯に腎臟炎に良い許りでなく、胃腸障碍や脚氣等にも、著しい効果があり、殊に妊婦あるひは胎兒に不足し易い榮養成分、アミノ酸中でもリチン、ヒスチヂン、ビタミンB、D、無機物ではカルシウム等を豐富に含んでをりますから、妊婦の抵抗力を強めて惡阻、腎臟を防ぎ、胎兒の發育を促して、流產、早產を防止する等の効果も顯著であります。

また「錠劑わかもと」が、妊娠初期に起る所の惡阻を豫防、輕快させ、食慾を增進する効果の著しいことは、專門家も特に推奬される所で、梅雨期の樣な重苦しい氣候で、惡阻なども增惡し易い時期には、缺かすことの出來ない妊娠の保健劑であります。

古代の分娩促進法

分娩の近づいた妊婦を台に縛りつけて、東の上に立たせて亂暴な方法で分娩させた。古代の分娩促進法・中世以後にはこんな亂暴な方法は用ひなくなつた

苦しい經驗から得た　腎臟炎と脚氣の豫防法

（大阪）新井弘子

私は身體は丈夫なのに、お產前になると腎臟炎を患ひます。そして產後には盜汗をかき、とても苦しみました。夜は眠られず、氣はいらいらして（中略）ふと眼に止まつたのは、新聞に『錠劑わかもと』がよいと有りましたので、夫に一圓六十錢のを買つて來て貰ひ、早速服んで見ましたら、段々眠れる樣になり、また盜汗もかゝなくなりました。そして身體も元の樣になりましたから、一罎のんで止めてしまひました。

子供ら丸々と肥り、安心致しておりました所、二年前の寒水害に少しの風邪がもとで死んでしまひました。その時「醫者が……の云はれるには、母親が腳氣であるから、一ぺんで病氣が重くなると云はれました。私はなぜあの時續いて『錠劑わかもと』を服んでをらなかつたであらうと後悔しました。（中略）

三月にまた子供が出來ます。今度はずつと服んでをりますから、苦しいつわりもせず、腎臟炎もせず、毎日元氣で子供の出來るのを待つてをります。

近所の人達にも、產前產後の惡い人が居られましたら『錠劑わかもと』をすゝめてをります。それで私達の近所の人は「錠劑わかもと」を愛用致して居られます（下略）

……これを分り易く申しますと、醱酵術の豐法によつて、活性のまゝ乾燥させてあるヘーフェ菌が、腸内に入つて溶解し、活潑なる活動を開始して、何等の副作用なき非特異性の刺戟を以て、衰へた諸細胞を鼓舞し、その機能を活潑にするのです。特に榮養の……

貧血と食餌療法

貧血は榮養の缺陷に起因する、赤血球血色素の不足から來るものですから、此を補充する方法として、動物の肝臟を食べることがいゝとされてゐます。併し胃腸が弱くて、食べた物を十分に消化吸收出來ないことから來る場合もありますから、むやみに肝臟を食べても、むしろ胃腸を惡くする許りで、効果のない事があります。

この場合まづ胃腸機能を振作し同時に營養を求める「錠劑わかもと」を併用することが推奬されてゐますが、この藥は血色素の原料たるヌクレインや鐵、ビタミン等の貴重な成分を含んでゐますから、他の療法で効かない惡性貧血もこれで治つた實例が澤山あります。

紀元二千五百九十六年
昭和十一年六月二十二日
京城日報
(日)(刊)
明治廿九年九月十八日第三種郵便物認可
第一萬二百六十九號
京城日報
朝刊 夕刊 共八頁
中央公論
七月特大號
廣田内閣に告ぐ
自由主義の意義 中島重
日本名將論 水野廣德
理想の危機 中島健藏
日ソ關係の現狀 成田精雄
時局徒然草 (漫畫と文) 西村眞琴
轉換期日本資本主義論 猪俣津南雄
官僚政黨財閥軍部 加田哲二
今議會に現れた國軍の動向 新明正道
財閥の國民經濟に於ける地位 有澤廣巳
佛國勞働運動の再統一 荒畑寒村
退職積立金法案の檢討 片山哲
日本資本主義に於ける米の意義 向坂逸郎
俳句
短歌
小説 青葉木菟 久保田万太郎
小説 濁流 葉山嘉樹
戯曲 鬼怒子 眞船豊
小説 老ぼれ 正宗白鳥
小説 山女魚 瀧井孝作
漫談雜記 高濱虚子
街の人物評論
法律相談
懸賞原稿募集中
東京 中央公論社發行
豪華別冊附錄共壹円
竹内栖鳳論 村松梢風
藤原銀次郎論 小汀利得
女ん夏暦 小穴隆一 今井邦子 伊馬鵜平
文學青年論 杉山平助
トーキー映畫の現段階 板垣鷹穂
伯林制覇の群像 鷲田成男
エネルギー經濟學大概論
南洋を往く!! 谷口五郎
働く妻の浮世 平林たい子
リトヴイノフの赤色外交 廣尾猛
兄・北一輝を語る 北昤吉
現代美術の搖籃時代 長沼守敬 高村光太郎編
北支の不安とわが對支政策 長岡克曉
佛國總選擧の意義と新内閣の使命 町田梓樓
政友會の苦悶 山浦貫一
双葉山論 彦山光三
映畫時評 大森義太郎
どん底のインテリ 木下
ゴルフ修業一ヶ年 伊藤正德
幕末の武士と青年將校 土屋喬雄
日出づる國
ルネ・ジューグレ著
小松清訳
René Jouglet
Soleil Levant
問題の別冊附錄
フランスの作家によって描破された現代日本の断面相!!
二・二六事件勃発の週間前にフランスで出版された問題の小説!!
全世界を驚愕と昂奮の坩堝に叩きこんだ日本時局「豫言の書」!!
山岸天佑堂
合資會社
京城府本町一丁目
卸と小賣・通信販賣
毎月營業月報發行
漢城銀行
資生堂石鹼
現在ご以上の石鹼はありません
化粧クリームを兼ねた專賣特許の
金 銀 白金
徳力
京城 徳力
京城明治町
電話本局 1572・4037・3939 2088・3688
結婚生活寶典
素晴しい好評
夫婦の仲がキットト圓滿になる奥の手を全部公開
主婦之友 七月號
空前の重寶附錄
發賣と同時に、素晴しい人氣を煽つてゐるこの特別大附錄を、一刻も早く御覧くださいませ。誰にも教へて貰へない夫婦生活の秘中の秘を詳しく公開した日本で初めての夫婦愛の教科書
花嫁の巻
見合で男子のどこを見るか
仲人の選び方とお禮の仕方
花婿候補者の身許の調べ方
結婚のできない病氣の療法
安心のできる縁談のすゝめ方
良縁はどうして捜し出すか
兩親が結婚に反對したら?
婚禮衣裳道具を安く買ふ法
新婚旅行をせぬ花嫁の心得
新婚當夜の花嫁の心得は?
新婚生活の花嫁の秘密相談
結婚後一番役に立つお稽古
結婚しても働ける人の職業
良人と早く馴染む妻の心得
見合結婚と戀愛結婚の注意
持參金附の花嫁の重大心得
職業婦人が結婚した場合は
姑小姑と同居する時の心得
花婿の巻
中年の奥様の巻
中年の良人の巻
(全部で約百廿項目發表)
床掛用の不動明王尊像 狩野芳崖作
明治の畫聖の國寶的大傑作を床掛用の附錄にして贈呈するので大評判です
極彩色のテンプル繪葉書一組
可愛らしいテンプルちやんの美しい色刷の繪葉書を一組づゝ贈呈いたします。
婦人子供夏の簡單服三十種
實物大の型紙つき仕立方
六十錢(送料十錢)
東京神田 (振替一八〇)
主婦之友社

本紙一萬號記念懸賞小説二等當選　鶴田晋上演受賞

春を待つもの（45）

山下ハル子
寺本忠雄畫

歸朝（六）

「宗像は、私ですが……」と、車掌を迎へて云つた。

「あ、宗像さんですか、別に電報が參りましたから……」車掌は恐ろしく折つた電報を渡した。

周一郎は急いで開いてみると

（ツゴウニテカヘレヌ　イサイフミ　フユ）

都合で歸れぬ？　ホテルで電話を掛けた時寮の學生監は確に、病院へ行くと云つて寮を出たと云つた筈なんだが、妙なことを云つて來て、都合とは何の都合なんだらうと、どう考へても合點の行かぬ電文だつた。

併し委細文とあるから、後の手紙で様子は解るかも知れぬし、又さうするより仕方ないと思つて、周一郎はもう一度電報の端へ目を通した。

發信局は、新宿驛で、八時に打つたものだつた。では、冬二は八時には未だ寮に歸つてゐないことになる。その時分迄新宿邊で何をしてゐたのだらうか？

永い間離れてゐただけに、冬二の性格の變化については見當がつかない。

父親が死んでも歸られぬ程の重大事が、冬二の身邊に起きた等とは到底想像出來ない事だ。疑惑は疑惑を生むばかりで、暗澹とした氣持であると、前に腰掛けてゐる女が伏目勝ちに自分の様子を見てゐるのに氣付いた。

周一郎が顏を上げると、女は、周章てて目を外らした。

電報を小さく疊んで、ポケットの中に入れた。

父の死、不具になつたといふ妹加奈子に冬二の不可解な行動——考へてみると、周一郎の歸朝を待つてゐたものは、不幸の連續だつた。

周一郎は、それ等の出來事を、他人事のやうにぼんやりした氣持で考へてゐた。

大きな不幸に直面した時人間の氣持の中には不思議な、平常には考へられないやうな、餘裕が生れて來る。それは感情の麻痺状態に似通つた、人間の體に自然に具はつた感情の保護作用かも知れない——。

「トヨハシイ——トヨハシイ」

驛夫の聲に、クッションに凭れて、うつらうつらしてゐた周一郎は不圖目を覺ました。

ガランとした構内には驛夫の姿が見えるだけで、黑ずんだ天井には、赤つぽい電燈の灯がともつてゐる。一時十分だつた。

車内は、ひつそりしてゐる。乘客の大方は眠つてゐるらしい。

氣がついてみると、前の女は、小型の本を讀んでゐた。見るともなく背の字を讀むと、アンナカレニナ——と金字で記されてゐる。

「もう豐橋でございますね——」

周一郎が、目を覺した氣配に、女は、眠い聲で云つた。

「えゝ、何處迄お乘りですか？」

周一郎は、女は、事によると、豐橋附近で降りるので、さうして起きてゐるのかも知れないと思つた。

「ずうつと、下關迄乘り續けです……」と、女は微笑しながら云つた。

無雜作に後ろへ撫でつけてゐる髪の、生え際が目立つて美しく、理智的な閃きの感じられる女だつた。歳は取つてゐるらしいが、離子よりも此の女の方が、美人かも知れないと周一郎は、ぼんやり考へてゐた。

「貴方様は？」女は遠慮深く云つた。

「僕も矢張下關迄……」

「まあ、左様でございましたか！」

女は、非道く驚嘆したやうな様子で、周一郎の顏を見詰めてゐたが、不圖何かに氣付いたやうに瞳を落した。

周一郎もそれつきり默つてゐると、女は、膝の上の本を取り上げて、ページを繰つてゐる。周一郎は妙に頭が冴えて來て眠れなかつた。

スーツケースの中に、ドイツで買つて來た本があつたので、それを取り出して、開いてみようかと思つたが、それも却つて女の邪魔を惹きさうで、止めてしまつた。

京都へ着いた時は、もうすつかり朝の景色に變つてゐた。女は、何時の間に身仕舞したのか薄く白粉を刷いてゐた。

朝の光線の中で見た女の唇は、萎びて生氣がなかつた。

此の頃の女の唇の色を、周一郎は、ハムの切り口の色に似てゐると思つた。

JODK　廿二日番組　月曜日

第一放送

午前六時（東）ラヂオ體操
同六時三〇分（東）英語講座（四ノ二）　山田嚴
同七時　今日の天氣見込
同七時一分（東）朝の修養　六波羅密（五）　文學博士
同九時（東）家庭メモ　矢吹慶輝
同九時一〇分　氣象通報（釜山）
同九時一五分　氣象通報・料理獻立
同一〇時三〇分（東）家庭講座　獻立の發達とその研究及效果　醫學博士　佐伯矩
正午（東）時報　日用品値段・鮮魚卸値段
午後零時五分　琵琶　譽れの水馬　糸井旭綠
同零時三五分（大）國民歌謠（第一日）心のふるさと　關種子
同零時四〇分　ニュース
同一時（東）婦人講座　世界女流藝術家物語（七）　吉田熊邦
同三時四〇分（東）氣象通報
同四時　ニュース（氣象通報・釜山）
同四時三〇分　相撲實況（四日目）（京城）旭町二丁目相撲場より中繼
同四時三〇分　野球試合實況（優勝日）（第二放送・京城）
同六時　アッコーデイオンとハワイアンギター
一、アッコーデイオン獨奏　踊り居、スザンの友だち、マルチー　安永明朗
二、（ハワイアンギター）ラ・クンバルシータ、アルハランド、黑い瞳、上海リル、小さな喫茶店　オナオナ・クラブ
同六時二〇分（東）コドモの新聞　村岡花子
同六時二五分（東）基礎英語講座（三十）　國谷榮
同六時五五分（東）カレントトピックス
同七時　ニュース・天氣見込・職業紹介
同七時三〇分（東）趣味講座　歐洲俳句の旅　高濱虚子
同八時（東）獨唱と管絃樂（通俗名曲定期演奏第六回）
一、歌劇ウインザーの陽氣な女房達序曲　ニコライ曲　二、獨唱（イ）歌劇「タンホイザー」歌の殿堂（ロ）同「アイーダ」勝ちて歸れ　三、歌劇「ラ・ジオコンダ」時の踊り　獨唱　長門美保　日本放送交響樂團
同八時四〇分（東）端唄　一、宇治茶　二、夕暮　三、月夜がらす　唄　吉澤芝八重　三味線　吉澤芝代
同八時五五分（東）歌舞物語　夜明　出演　長岡輝子　獨唱　月村光子
同九時三〇分（東）時報　ニュース・氣象通報、翌日の番組（地方へのニュース京城）
同一〇時　ニュース、氣象、通報地方へのニュース（朝鮮語釜山）

第二放送

午後零時〇五分　謠曲　水打合　櫻間
同三時一五分　婦人の時間　張文卿
同六時三〇分　兒童劇　新興同人會
同七時　經濟解說　洪性夏
同八時　農村講座（一）金雄珏
同八時三〇分　野談　申鼎言
同九時　洋樂
同九時三〇分　伽倻琴併唱　成錦花

廿三日きゝ物

午前七時一分（東）朝の修養　六波羅密（終）　矢吹慶輝
同一〇時三〇分　通俗講座　人間加藤清正を偲ぶ　加藤灌覺
午後零時五分（大）オペラコミック　井上起久子外
同零時三五分（大）國民歌謠（第二日）心のふるさと　關種子
同二時　經濟講座　株式會社經營の話（一）　吉川雅弘
同四時三〇分　相撲實況（千秋樂）（京城）旭町二丁目相撲場より中繼
同六時（名）勇士物語　名古屋金の城音樂童話會　加藤清正
同六時二五分（東）青年の時間　三つの難ひ五つの戒め　香坂昌康
同六時五五分（東）カレントトピックス
同七時三〇分（遞）講演　放送賢頭大會々場より中繼　勞働大衆の健康に就て　暉峻義等
同八時（前）俚謠　前橋市群馬會館より中繼　草津湯もみ唄　八木節
同八時一〇分（大）俚謠　第四小學校講堂より中繼　一、木挽唄　二、初潮音頭　大和初潮町若衆連
同八時二〇分　マンドリン獨奏と四重奏　京城マンドリン四重奏團　一、四重奏　水車小屋の戀人　セレナーデ　二、獨奏　ブレッド　ロツイガノ　第三タランテラ　岸邊に立ちて　三、四重奏　アンダンテとポロネーズ
同八時二〇分　義太夫（淺山）菅原傳授手習鑑寺小屋の段
同八時五〇分（前）浪花節＝前橋市群馬會館より中繼＝鹽原孝子傳　東家樂遊

當代一流　爭霸血戰譜（9）

＝（飯塚氏二回勝三人目）＝

香落七段▽飯塚勘一郎
四段▼中村熊治

二局　圖は六四歩迄の局面

『持駒』▽飯塚氏　ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	▽香	▽桂		▽金	▽王	▽金	▽銀	▽桂	▽香	一
		▽飛		▽銀				▽角		二
			▽歩		▽歩	▽歩		▽歩	▽歩	三
				▽歩			▽歩			四
	▽歩	▽歩	歩							五
				歩						六
	歩	歩	角	銀	歩	歩	歩	歩		七
	飛									八
		桂		金	玉	金	銀	桂	香	九

持時間各七時間　消費時間　▽四十分　▼一時間十五分

▽七六銀（4分）▼四二玉　▽四八玉（12分）▲三二玉　▽三八玉　▼五二金右（2分）▽一六歩（3分）▼一四歩　▽五八金左（1分）▼五四歩（9分）▽五六歩　▼四二銀　▽六七金（15分）▼六三銀（16分）

觀戰記（一）

双龍子

六七銀の應酬

局面は下手方六四歩と、六筋から攻め込む手段を考へた味ふべき手で。これに對し飯塚六段が五分間稍考慮を拂つて七六銀と應酬した。その作戰を窺へば四八玉と越し、六五歩と仕掛けられたとき、七八金と逃り、六六歩と取り込まれても局面で惡い手ちやない。

しかし、この銀を上つてゐなければ後になつて五八金と締る法がないのだ、種々の議論はあつても銀上りの方が確實性に富んでゐる。中村四段の四二玉は當然の出であるが、十分間以上も案を練つてゐたのはどういふ次第か、と疑問も殘したくなる。そこで惡例を申せば

『五四歩と突いて見たかつた……』と云つてゐるが此の案には賛成出來ない、何故なら、かう云ふ塞合居玉のままで凝向すると必ず手損を來す憂れがあるからだ。

講評

日本將棋聯盟會長　八段　金易二郎

中村君の五四歩に付いての觀戰子の考察は至極當を得た思ひ往きである。

これに對し飯塚君の五六歩は當然手段である、ここで手數をぬいたりなぞすると五五歩と突き越されて位負となり大きな損害を蒙る。もつとも六八飛の時は一つの悪手として五筋の一手を省略して先を取ることもあるる。

次に六七金は前からの議論であつた。と同君は云つてゐるが、それでも十五分間も考へ込んだのに二八玉と出る手との比較である。これを觀察するに敵の方では五四歩と突いてゐるので六筋からの壓迫は相當緩和せられてゐる。六二銀の働きが重くなつて六筋からの壓迫は相當緩和せられてゐる、依つて二八玉の方が優つてゐると信ずる。

複雜した形

飯塚六段の一六歩はさほど急ぐ程のこともないが九八飛と一手を設し、九筋の歩を補つた陣型でに位を張る必要があらう、敵が手を拔けば一五歩と突き越しおきさへすれば有利で直ちに二八玉と寄せより玉の形が不定であるだけ手際い譯だ。

中村四段の五四歩も目下の選別に答め立てする程のものでもあるまいが、ここには直ちに四二銀と玉頭と五筋を厚くしてから敵の動きを窺つた方がいゝかと思ふ。その時敵が二八玉と寄つたら六三銀、三八銀、五四銀と上つて六五歩の仕掛けで指しよいだけ有利だし、又二八玉と寄らずに五六歩なら、その時五四歩と突いて居れば同一のやうでも上手方の運びを鈍めて本筋であらうと思ふのである。

琵琶　馬水の譽

晝零時五分　糸井旭綠

△世は　寬永の夏半ば、青葉に降る五月雨の、いつやむべくも荒川の、水嵩増すよと見る中に、激浪怒ち氾濫して、江戶は未曾有の大洪水、堤は崩れ橋は落ち、家は流され人溺れ阿鼻地獄をぞ現じける。將軍家光斯くと聞き、さらばこれより出馬して、被害の模様見屆けむ、續け者共遅るなと、鞭あてまばゆき陣笠に、緋縅絲の羽織なびかせつゝ、一騎當てし驅形や、隊前通りまつしぐら、並木を過ぎて行く先は、助け待乳の山の上

△聖人　の社に駒を立て、小手をかざせばこは如何に、只見る限りみなぎれる、濁水滔々渦を卷き、何處隅田の流れとも、いざ白波の立つばかり、さすがの家光驚きて、かしこ押へよそこ防げ人命救助は戰場の、船首同様ぞ、上意／＼と觸れ出し船手作事の面々が、働きつぶさに見屆けつ、やがて一先づ歸らむと、山を下りて水際を、幽霊近くかゝりし時、川の彼方に一つ松、幽冥搖くくろん／＼と

△にじ　む風情の面白さ、何とかけん家光は、誰そあるあの松目際に、水馬の手並示せよと、いへど人々返解なく、顏見合せてありけるにぞ援と束覽なる曲世がならば目ら渡らむと、手綱絞りて乘り出す、被官内膳戶田山城、こもん／＼者に取り縋り、こは暫々しき御振舞ひ、匹夫の勇とや申さむと、言葉をつくして諫むれど、耳にもかけず鞭を揚げ、放せ／＼と罵りつゝ

△驅け　拔けんとする時しもあれ、遙か下手の方よりも、イヨッと一聲勇ましく、馬乘入れし一人の武士、萌黄匂へる陣羽織に、朱塗の陣笠着けたるが、前よりも早き激流を、浮きつ沈みつ渡り行く、あつぱれ美事の働きに、將軍始め一同が、あれよ／＼と打讃る、折から又も水煙、立つよと見れば白髮を鉢巻なせる老武者の、大音揚げつゝ後を追ふ、その有様はさながらに、佐々木梶原の故事を

△今眼　のあたり看る如く、家光思はず歎聲し、あゝ德川の武道未だ地に墜ちず、とまれ兩人の姓名を、とく調べよとありければ六人保彦左衞門畏まり、されば臣の羽打達の定紋は御近習岡部藤七郎忠秋、續くは家臣平田彈右衞門と覺えたり、忠言耳に逆ふの、鑒に洩れず忠秋は、御不興蒙りし身なれども、けふ界ながらの御供に、御上意あだになすまじと

△死を　ば決せしものならむ、彼等主從が心のうち、哀れと思し給はれと、言上すれば家光は、そゞろに泪ぐませつゝ、實にさもあらむ彼こそは、幼少よりの對手役、一日もはなれし事なきにうとんじたりしは我が誤り、また平田とやらも主に似て、揃ひも揃ひし眞の武士、褒めよ／＼と日の丸の、軍扇高く振りかざす、この時主從は漸くに、彼方の岸に打ち上り、悪馬いたはる樣なりしが、戾り來れの合圖ぞと

△思ひ　やしけん勇氣にも、それ死なすなと下知の下、助けの船を出せども、兩人はこれを退けて、重ねて示す水馬の秘術、天他に響く歡びの、聲をあびつゝ渡ぎ着き、御前にはつと平伏しぬ、家光いたくこれを愛で、勘氣許せしのみならず、三萬石を與へんと、意外の言葉に忠秋は、たゞ感涙に咽びしが、斯くて心もすみ田川、譽の水馬と後代までも、香ばしき名を流しけり